

学校だより巻頭言

## 英語でのコミュニケーション

校長 安養 貢

6月6日（木）、城端中学校にアメリカからの来訪者がありました。

30年ほど前にALTとして本校に勤めておられたマイケル先生の娘「ケイティさん」です。南砺市民病院を訪れた話題が新聞記事にもなりましたが、その前に城端中学校を訪れ、校内の見学と英語の授業に参加されました。

約束していた時間より1時間も早く来校されたため、英語がほとんど話せないわたしは、校長室での時間を持て余していました。大昔に学んだはずの「覚える英語」は、あまり役に立たず…。しかし、そんなわたしにもこやかに話しかけてくださるケイティさんに少しでも応えなければという思いだけで、たどたどしく単語をつないで話をしました。あちこちから変な汗が出てくる感じがしていました。

ようやく、校舎を案内することになりました。途中の廊下でアナ先生と出会い、どんなに心強かったことか。アナ先生も一緒に校内を回ってくれることとなり、英語の授業をしているクラスに行きました。思いがけない外国からの訪問者、生徒たちは恥ずかしさもあり、きっと戸惑うだろうと思っていましたが、「ハロー！」と笑顔で元気よく声をかけてきました。一緒に来校された昔の城中を知る方も驚いておられ、以前の生徒は英語を習っていても、実際に海外の方に話しかけることはなかなかできなかったのに…と言っておられました。しかし、小学校の時から外国語を学び、中学校でもコミュニケーションを重視した授業を受けている生徒たちは、積極的に、フレンドリーに話しかけることができます。もちろん、全員ではありませんが、その英語でのコミュニケーション力に、たくましさすら感じました。

さて、今年度から、しばらく中断していたアメリカマルボロへの海外派遣が復活します。8月14日（水）から24日（土）までの11日間の派遣となります。本校からは7名が、市内の他校から7名が、合計14名の派遣団となります。昔からこの事業を支えてこられた地域の方からは、この派遣にどんな思いや願いがあり、参加した生徒たちがいかに成長してきたのかをたくさん教えていただきました。6月から説明会や研修会等の準備を進めています。輸送コストや感染症への対応、円安の影響等々、以前よりも難しい点も多々ありますが、生徒たちがたくさんの貴重な経験を重ね、コミュニケーション力を成長させて帰ってきてくれることを願っています。

なお、城端中学校で長く勤めていただいたアナ（ソロザノ・イツァヤナ）先生は今学期で離任されます。5年間ありがとうございました。2学期からはサイツ・コーディ先生が着任されます。